

# 2024年度 環境経営レポート

2024年度（R6年6月～R7年5月）



## エコアクション21

有限会社塚本興業

作成日：令和 7年 9月 30日

作成者：後藤康平



## 目次

<u>環境方針</u> .....	-1-
<u>実施体制</u> .....	-2-
<u>組織の概要</u> .....	-3-
<u>事業内容</u> .....	-4-
<u>敷地及び床面積</u> .....	-5-
<u>許可内容</u> .....	-6-
<u>処理施設概要</u> .....	-7-
<u>産業廃棄物処理フロー図</u> .....	-8-
<u>EA21 推進委員会</u> .....	-9-
<u>中長期環境目標</u> .....	-10-
<u>環境への負荷の状況</u> .....	-11-
<u>環境目標と実績評価</u> .....	-11-12-
<u>分析・評価・次年度への課題（温室効果ガス排出量・化石燃料の使用量）</u> .....	-11-
<u>分析・評価・次年度への課題（化石燃料の使用量・購入電力）</u> .....	-11-12-
<u>分析・評価・次年度への課題（自社オフィス廃棄物排出量・上水使用量）</u> .....	-12-
<u>分析・評価・次年度への課題（産業廃棄物リサイクル率・グリーン購入(事務用品)）</u> .....	-12-
<u>環境活動計画&amp;進捗評価</u> .....	-13-14-
<u>環境関連法規等の取りまとめ</u> .....	-15-
<u>代表者による評価と見直し---環境システム全般について評価と見直し---</u> .....	-16-17-

# 環境経営方針

## 【基本理念】

有限会社塚本興業は、廃棄物の処理業務を行う上で、より快適な地域環境を常に創造しつつ地域に暮らす人々の身近な生活環境を守り、次世代へ継承することを企業の使命とし社員一人一人が地域環境の保全に心がけ、安全・迅速・的確にサービスの提供を行い、創意工夫と行動力をもって循環型社会の構築へ貢献する企業活動を推進します。

## 【環境方針】

1. 地球環境の保護のため、省資源・省エネルギーの推進をします
  - ▼水資源の節約に努めます（雨水を有効利用する）
  - ▼収集運搬車両のエコドライブを実践し、CO<sub>2</sub>排出の低減に努めます
  - ▼こまめに電気を消し、必要以上の電力を使用しない様、省電力に努めます
2. 廃棄物のリサイクル率の向上に努めます
3. 地域社会貢献活動をします
4. 環境関連法規を遵守します
5. 廃棄物の処理業務を行う上で、周辺環境の保全に努めます
6. 従業員の環境教育を行います
7. 環境経営システムの継続的改善に努めます

平成 19 年 4 月 2 日制定

平成 26 年 9 月 1 日改訂

令和 5 年 10 月 16 日改正

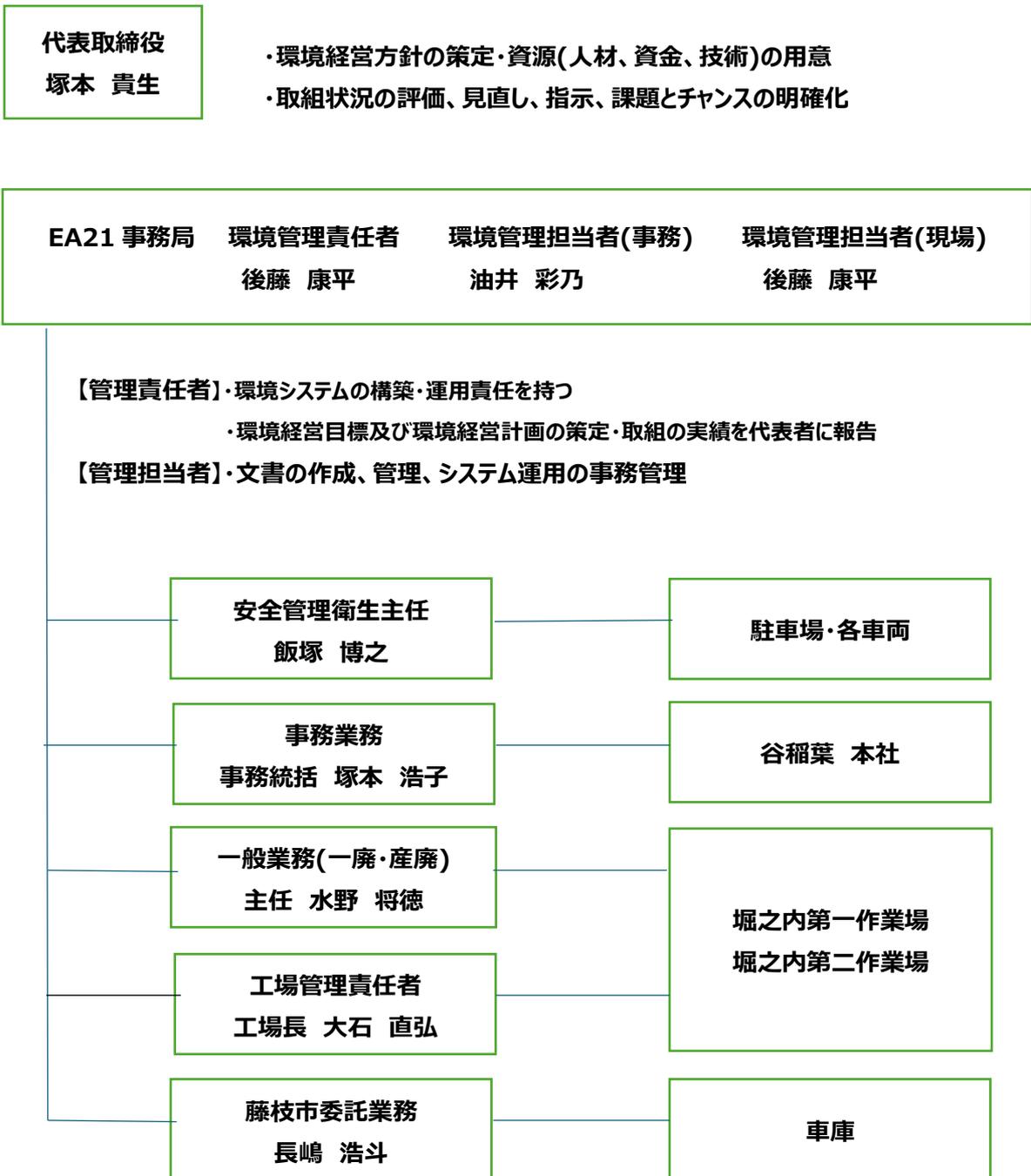
有限会社塚本興業

代表取締役 塚本貴生

## 実施体制

当社のエコアクション 21 の対象範囲 : 全組織・全従業員

有会社塚本興業 組織図



## 組織の概要

会社名および代表者名  
有限会社 塚本興業  
代表取締役 塚本貴生

環境管理責任者  
環境管理責任者名 後藤康平  
連絡先 [tkeco@cy.tnc.ne.jp](mailto:tkeco@cy.tnc.ne.jp)

### 所在地



本社 〒426-0083 静岡県藤枝市谷稲葉 435-1  
TEL 054-644-1524 FAX 054-668-9557  
駐車場 静岡県藤枝市谷稲葉 398



堀之内第一作業所 〒426-0088  
静岡県藤枝市堀之内 1 丁目 1 番 13 号



堀之内第二作業所 〒426-0088  
作業所 静岡県藤枝市堀之内 1 丁目 1 番 10  
駐車場 静岡県藤枝市堀之内 1 丁目 1 番 11・12



堆肥製造施設 〒426-0131  
静岡県藤枝市瀬戸ノ谷宇山下 1304 番 2



## 事業内容

### ■ 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業及び中間処理業

会社の概要・事業の規模の推移

事業開始 : 昭和 45 年 6 月 法人設立 61 年 9 月 資本金 : 700 万円

	単位	2022 年度 (令和 4 年 6 月～ 令和 5 年 5 月)	2023 年度 (令和 5 年 6 月～ 令和 6 年 5 月)	2024 年度 (令和 6 年 6 月～ 令和 7 年 5 月)
売上高	百万円	196.8	195.1	201.9
<b>運搬実績</b>				
藤枝市委託(家庭系)	t	9717.9	9272.2	8865.8
事業系一般廃棄物	t	1056.7	825.9	837.3
事業系一般可燃ゴミ	t	548.9	531.1	511.1
事業系一般不燃ゴミ	t	307.3	115.2	149.4
事業系一般古紙	t	200.5	179.6	176.8
産業廃棄物	t	54.9	100.79	72.8
廃プラスチック類	t	47.3	76.9	35.1
木くず	t	2.5	2.4	6.5
ガラス陶磁器くず	t	5.1	1.0	5.8
動植物性残さ	t	0.0	0.0	10.9
特定家庭用機器	t		20.49	14.5
<b>中間処理量</b>				
事業系一般廃棄物	t	21.5	25.0	24.0
圧縮梱包 : ペットボトル	t	10.4	12.8	13.3
圧縮梱包 : スチール缶	t	6.8	7.5	6.3
圧縮梱包 : アルミ缶	t	4.3	4.7	4.4
産業廃棄物	t	30.7	34.9	45.6
圧縮梱包	t	30.7	34.9	34.7
破碎分離	t	0.0	0.0	10.9
肥料化	t	0.0	0.0	10.9
従業員数	人	26	26	30
車両台数	台	17	18	18

## 敷地及び床面積

		2022年度	2023年度	2024年度
本社	敷地面積	468.09	468.09	468.09
	床面積	304.89	304.89	304.89
谷稲葉駐車場	敷地面積	375	375	375
堀之内第一作業所	敷地面積	685	685	685
	床面積	243.67	243.67	243.67
堀之内第二作業所	敷地面積	693	693	693
	床面積	454.51	454.51	454.51
堀之内第二駐車場	敷地面積	1250	1250	1250
堆肥製造施設	敷地面積	196	196	196
	床面積	70.27	70.27	70.27

単位：㎡

### 車両の概要

#### 藤枝市委託業務 車両

- ① 中型 塵芥車両 7台
- ② 準中型 塵芥車両 1台

#### 一般・産業廃棄物許可業務 車両

- ① 中型 塵芥車車両 3000kg
- ② 準中型 2t バン
- ③ 準中型 塵芥車車両 2800kg
- ④ 準通型 2t バン
- ⑤ 中型 塵芥車車両 3500kg
- ⑥ 普通 350kg バン
- ⑦ 中型 4t 脱着装置付コンテナ専用車両
- ⑧ 普通 350kg バン
- ⑨ 普通 250kg ピックアップ
- ⑩ 準中型 バン
- ⑪ 準十型 2t バン
- ⑫ 中型 塵芥車車両 3650kg



## 許可内容

### 一般廃棄物収集運搬の許可内容

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
藤枝市	藤生環指第 1-35 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
焼津市	第 44-11 号	令和 6 年 7 月 26 日	令和 8 年 7 月 25 日
島田市	島地環第 471 号	令和 7 年 2 月 25 日	令和 9 年 2 月 28 日
静岡市	第 10214 号	令和 7 月 4 月 1 日	令和 9 年 3 月 31 日
吉田町	第 6-3 号	令和 6 年 5 月 31 日	令和 8 年 5 月 30 日
川根本町	川本<環第 62 号	令和 6 年 5 月 15 日	令和 8 年 5 月 14 日

※静岡市一般廃棄物収集運搬業務の内容は特定廃家電 4 品目の指定場所への積み下ろしに限る

### 事業系一般廃棄物中間処理業の範囲

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
藤枝市	藤生環指第 2 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
	圧縮・梱包・結束処理・破碎分離(廃プラスチック/アルミ缶/鉄缶/ペットボトル/動植物性残さ(生ごみ))		

### 産業廃棄物収集運搬の範囲

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
静岡県	第 02201116606 号	令和 7 年 3 月 3 日	令和 12 年 3 月 2 日
	※廃プラスチック類・金属くず・※ガラスくず及び陶磁器くず・※がれき類・汚泥・廃油・廃酸・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ 以上 11 品目 (石綿含有廃棄物を除く)		

### 産業廃棄物中間処理の範囲

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
静岡県	第 02201116606 号	令和 6 年 11 月 2 日	令和 11 年 11 月 1 日
中間処理	破碎分離処分→廃プラスチック類・金属くず・廃酸・動植物性残さ 圧縮梱包→廃プラスチック類・紙くず・繊維くず 肥料製造処分→廃酸・動植物性残さ		

# 処理施設

## 中間施設処理能力

施設名	種類	処理能力
圧縮梱包	廃プラスチック類	0.56 t/日(8.0 時間)
	紙くず	0.64 t/日(8.0 時間)
	繊維くず	0.53 t/日(8.0 時間)
破碎分離施設	廃プラスチック類	0.16 t/日(8.0 時間)
	金属くず	0.16 t/日(8.0 時間)
	廃酸	3.04 t/日(8.0 時間)
	動植物性残さ	3.04 t/日(8.0 時間)
肥料製造施設	廃酸	0.10 t/日(24.0 時間)
	動植物性残さ	0.98 t/日(24.0 時間)

肥料製造施設



圧縮梱包施設



破碎分離施設



## 産業廃棄物処理フロー図

### 圧縮梱包 堀之内第一作業場

種類			中間処理		中間処理後
廃プラスチック類	収集運搬	→	圧縮梱包	→	委託：固形燃料製造
					委託：焼却
					委託：資源物売却
紙くず	収集運搬	→	圧縮梱包	→	委託：固形燃料製造
					委託：資源物売却
繊維くず	収集運搬	→	圧縮梱包	→	委託：固形燃料製造

### 破碎分離 堀之内第一作業場

種類			中間処理		中間処理後
動植物性残さ 廃プラスチック類	収集運搬	→	破碎分離	→	動植物性残さ 自社：肥料製造
					動植物性残さ 委託：メタン発酵
					廃プラスチック類 委託：固形燃料製造
動植物性残さ 金属くず	収集運搬	→	破碎分離	→	動植物性残さ 自社：肥料製造
					動植物性残さ 委託：メタン発酵
					金属くず 委託：資源物売却
廃酸 廃プラスチック類	収集運搬	→	破碎分離	→	動植物性残さ 自社：肥料製造
					動植物性残さ 委託：メタン発酵
					廃プラスチック類 委託：資源物売却
廃酸 金属くず	収集運搬	→	破碎分離	→	動植物性残さ 自社：肥料製造
					動植物性残さ 委託：メタン発酵
					金属くず 委託：資源物売却

### 肥料製造 堆肥製造施設

種類			中間処理		中間処理後
動植物性残さ	収集運搬	→	肥料製造	→	自社：肥料売却
廃酸	収集運搬	→	肥料製造	→	自社：肥料売却

## EA21 推進委員会

- ・毎月第二水曜日に各部門責任者が集まり、EA21 推進委員会を開催
- ・業務上の課題及び問題点を題材にし、改善点などをまとめて従業員全体にフィードバックする会議の実施。

### エコアクション 21 における役割

#### 代表取締役

- ・環境方針の策定
- ・資源・人・物・資金の調達
- ・各責任者の任命
- ・取組み状況の評価と見直し

#### 環境管理責任者及び管理担当者

- ・外部からの苦情処理
- ・システムの構築と運用
- ・社内教育の実施
- ・環境関連整備行事の企画

#### 事務部門 事務統括

- ・外部からの苦情受け付け
- ・EA21 に係るデータ書類作成
- ・自社ごみの分別
- ・EA21 推進委員会の司会進行

#### 藤枝市委託部門作業長

- ・藤枝市ごみ収集の苦情受付及び対応
- ・エコドライブ・エコ作業
- ・回収ルートの見直し等業務効率化

#### 一般業務部門 主任

- ・事業所からの苦情の受付及び対応
- ・エコドライブ・リサイクル
- ・回収ルートの見直し等の業務効率化

#### 安全運転責任者

- ・防災関連行事の提案と企画
- ・安管総会への出席および従業員への指導

### 環境整備活動 奉仕作業の実施



### エコドライブ・安全運転ランキング揭示の実施

ランキングシート(社員)				対象期間	2025/08/01	～	2025/08/31	作成日時	2025/09/25 15:10
順位	社員	所属	運行回数	指標	値(0.00)	シート数	ベスト数	ESG指数	ESG指数評価
44	水野祥博	各輸車	42	9.270	*****			20.000	●●●●●
109	山田浩平	各輸車	39	13.207	*****				●●●●●
87	北澤浩平	各輸車	38	13.118	*****				●●●●●
4	90	坂本有次	各輸車	31	14.507	*****			●●●●●
5	17	鈴木政博	地之内	5	14.038	*****			●●●●●
6	109	山田浩平	地之内	1	14.974	*****			●●●●●
7	99999999	ドライバー承認	各輸車	12	15.452	*****			●●●●●
8	87	伊藤浩和	各輸車	96	15.776	*****			●●●●●
9	43	北澤浩平	各輸車	26	15.987	*****			●●●●●
10	2	藤本真生	各輸車	35	17.096	*****			●●●●●
11	95	高橋ひかる	地之内	7	17.400	*****			●●●●●
12	94	小島健太郎	地之内	20	18.061	*****			●●●●●
13	73	石上亮輔	地之内	26	18.172	*****			●●●●●
14	88	戸神明	地之内	27	18.236	*****			●●●●●

### 社内講師の社内教育の実施



## 中長期環境経営目標

		単位	基準数値 2023	2024 年度 目標	2025 年度 目標	2026 年度 目標
温室効果ガス排出量		kg-Co2	143554	-0.5%	-1%	-1.5%
				142836	142118	141400
化石燃料の使用量	軽油	ℓ	49597	-0.5%	-1%	-1.5%
				49349	49101	48853
	ガソリン	ℓ	3094	-0.5%	-1%	-1.5%
				3078	3063	3047
購入電力		kWh	17461	-0.5%	-1%	-1.5%
				17373	17286	17199
一般廃棄物総排出量		kg	266 (単純焼却)	-0.5%	-1%	-1.5%
自社オフィス排出廃棄物量				264	263	262
水使用量(上水)		m <sup>3</sup>	192	-0.5%	-1%	-1.5%
				191	190	189
産業廃棄物のリサイクル率		%	100	維持	維持	維持
※産業廃棄物のリサイクル率(=中間処理後のリサイクル量÷中間処理合計) は、処理量を考慮し、現状維持とする				100	100	100
グリーン購入(事務用品)				100	100	100

※自社排出の産業廃棄物は少量の為、目標を設定していません。

## 環境への負荷の状況(実績)

		単位	2024 年度 (令和 6 年 6 月～令和 7 年 5 月)		
			目標値	実数値	評価
3.温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO <sub>2</sub>	142836	142839	×
3.総エネルギー投入量	軽油	ℓ	49349	49500	×
	ガソリン	ℓ	3078	2580	○
	購入電力	kWh	17373	18969	×
4.受託した一般廃棄物の運搬	収集運搬量(事業系)	t	837.3		
	収集運搬量(家庭系)	t	8865.8		
4.受託した産業廃棄物の運搬	収集運搬量	t	72.8		
4.受託した産業廃棄物の中間処理	廃プラスチック類	t	35.1		
	動植物性残さ	t	10.9		
5.一般廃棄物総排出量 (自社オフィス排出廃棄物量)	再生利用	Kg	302		
	単純焼却	Kg	264	231	○
7.水資源投入量(上水)	上水	m <sup>3</sup>	191	206	×
	雨水	m <sup>3</sup>	66		
総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	152		
	下水道	m <sup>3</sup>	120		
産業廃棄物のリサイクル率		%	100	100	○
グリーン購入(事務用日)		%	100	100	○

## 環境目標と実績評価

### 温室効果ガス

排出係数が 0.482 で計算されています。

軽油は目標未達成に終わりました。ガソリンの大幅に削減し目標達成出来ましたが、それを上回る勢いで電力を消費していました。去年と比べ、冬の時期の使用量も増えていた為、暖房を使い過ぎた為、ガス排出量が減らせず目標未達成に終わりました。

### 化石燃料使用量

ガソリンの使用量は大幅に減らすことに成功したが、軽油の使用量が去年より減らすことは出来たが目標値まで減らせなかった。依頼が重なり、物量が多く、会社と現場の往復回数が何

度があったことも原因と思われる。

### **購入電力**

1年を通して、購入電力が増加傾向だった。熱中症対策の為、休憩中の作業場、本社等のエアコンの使用量が増加していた。次年度以降は温度管理、稼働時間にルールを設け購入電力を抑える。

夏場の使用量もだが、冬場の使用量が去年より増加していた為、冬場も意識する。

### **自社オフィス排出廃棄物量**

可燃ごみの排出量を問題なく減らし、目標を達成する事が出来ました。

### **水使用量**

本社・堀之内第二作業場の水の使用量が増加している。

今年度本社は単独浄化槽から合併浄化槽にする為の工事を行い、堀之内第二作業場は下水の工事を行った。堀之内第二作業場にも水道を設置した為、水の利用料が増加している事も原因の一つと考えられる。

本社と堀之内第二作業場の休憩所にウォーターサーバーを導入し、休憩時に利用する事もあつたため、その事も増加の原因と考えられる。

それでも全体的に水の使用量が増加傾向だったため、従業員一人一人が気を引き締め次年度は目標達成に努める。

### **産業廃棄物リサイクル率**

処理量を考慮し現状維持が出来ている。

### **グリーン購入**

事務用品はグリーン購入を積極的に購入し現状維持できている。

## 環境経営計画 & 進捗評価

環境目標	実施項目	責任者	評価
省エネルギー活動	洗車・運搬容器洗浄・洗濯機(堀之内倉庫)には全て雨水使用	大石直弘	○
	エアコンの温度設定	油井彩乃	×
	節電の為の工夫、実行	油井彩乃	×
	エコドライブの徹底	後藤康平	○
	藤枝市委託業務回収ルートの見直し・効率化	大石直弘	○
	一般業務回収ルートの見直し	水野将徳	○
	事務所の不要照明の消灯(節電の徹底)	油井彩乃	○
廃棄物のリサイクル率向上	排出事業所への分別指導	水野将徳	○
	コピー用紙の裏面使用の徹底	油井彩乃	○
	廃棄物排出量の削減(自社の分別の徹底)	油井彩乃	○
	エコキャップ活動	油井彩乃	○
	産業廃棄物のリサイクルに務める(処分業者の選定)	水野将徳	○
	一般廃棄物のリサイクル業者との提携	塚本貴生	○
地域社会貢献活動	もったいない運動推進募金(自動販売機)と集計	油井彩乃	○
	地域清掃活動	後藤康平	○
環境関連法規の遵守	積載量・制限速度の厳守	飯塚博之	○
	従業員への教育(朝礼・回覧)	後藤康平	○
	車両点検・点検表の保管(3年間) 道路運送車両法	大石直弘	○
	毎朝の免許証・呼気アルコール濃度チェックの実施	長嶋・後藤	○
	廃棄物の中間処分施設の適正管理(施設点検)	大石直弘	○
	産業廃棄物に関するセミナー	伊東・後藤	○
	労働安全衛生法第45条に基づくフォークリフト検査	塚本貴生	○
	安全運転管理協会講演会	飯塚博之	○
	産業廃棄物処分施設への見学	水野将徳	○
	志太広域地域事務組合 高柳清掃工場優良認定の取得	塚本貴生	○
周辺環境の保全	産業廃棄物処分施設の適正管理(施設点検)	大石直弘	○
社員の教育環境	グリーン購入	油井彩乃	○
	電子マニフェスト管理	飯塚泉	○
	環境上の緊急事態への準備及び対応の確認	後藤康平	○
	車両火災時の訓練 BCP 発表	後藤康平	○

	BCP(事業継続計画)の策定	塚本浩子	○
	事業継続力強化計画の確定	塚本浩子	○

取組み期間 2024年6月~2025年5月末

## 環境関連法規等の取りまとめ

適用対象	適用事項	評価
廃棄物の及び 清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬・処分業許可の届出・更新	○
	委託契約書・管理票の5年間保存	○
	産業廃棄物排出者への管理表写しの送付(10日以内)	○
	産業廃棄物の帳簿作成・5年間保存	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出	○
	産業廃棄物保存場所における種類等の表示	○
	廃棄物排出業者に分別の指導を行う	○
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する条例	第10条 処分を委託した業者の実地確認	○
	第12条-第16条 産業廃棄物の運搬において越境しない	○
	第17条 委託産業廃棄物の処理状況の報告(毎年度6月)	○
家電リサイクル法	家電リサイクル券の発行	○
食品リサイクル法	食品残さの収集運搬・堆肥化	○
道路交通法	出勤時の免許証携帯・出退勤時の呼気アルコール濃度のチェック	○
	運転中の携帯電話使用禁止	○
	過積載の禁止	○
	毎朝の車両点検・設備 書類保管	○
道路法	道路網の設備・管理・保全に関する法令遵守	○
	藤枝市委託業務における通行禁止区間除外指定車の申請	○
肥料取締法	食品リサイクル肥料認証書の取得	○
浄化槽法	業者による浄化槽の保守点検 11条検査	○
悪臭防止法	悪臭基準(藤枝15)の遵守	○
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い・書類保管	○
下水道法	堀之内作業所における下水道に関する法令遵守	○
グリーン購入法	環境物品を積極的に購入	○
循環型社会形成推進基本法	3Rの実行	○
水銀汚染防止法	水銀使用性製品廃棄物の分別の徹底と法令遵守	○
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検の実地 1回/3ヶ月	○
プラスチック資源循環促進法	製品プラスチックの再資源化	○

当事業所に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また関連機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去5年間ありませんでした。

遵守確認日 令和7年5月末

確認者 塚本浩子

## 代表者による評価と見直し -環境システム全般についての評価と見直し-

### PLAN(計画)

- 1.産業廃棄物の資源化率の維持と、一般廃棄物の単純焼却分の減量、及びリユースのよるリサイクル率の向上
- 2.無理のない節水・節電の推奨によるエネルギーコストの削減
- 3.地域のゴミの減量化・堆肥化
- 4.人材の育成強化

### DO(計画の実施)

- 1.排出事業者への分別指導及び一般家庭の不用品をリユース販売する機会の創出や分別方法のアドバイス
- 2.節水において、雨水を使用する用途を広げ利用促進  
節電において、作業者が少ない場所や時間によって重点的に使用量を削減し、温度管理も徹底する。
- 3.ゴミ減量観点から、給食センターの残さを計画的に堆肥化しゴミの排出量を減らす。堆肥を利用して野菜を作り、地域の小学校や介護施設の方たちと、植え付け・収穫体験をして地域貢献するとともに、廃棄問題についての大切さを教えていく。
- 4.セミナーや講習会等、積極的に参加し、社員のレベルを上げる。

### CHECK(確認・評価)

- 1.産業廃棄物においては、複合素材を排出する事業者を中心に事前分別をお願いし、リサイクルしやすい形で排出してもらうよう協力を促す。新たに契約が始まる事業所もあるため、引き続き徹底しリサイクル率の維持に努める。  
一般廃棄物においては、不用品＝廃棄というサイクルを見直し、社会貢献活動で行うマルシェを実施し不用品の利活用の訴求ができた。年々マルシェの来場者も増加していて、リユースを目当てのお客様が一定数いる為、粗大ごみの廃棄量も減らし、現場の作業としても、出来る限り分別を行い、資源として買取してもらう努力もし、資源としても買取量も増加している事から廃棄量を減らせている。
- 2.夏場の暑い時期、クーラーの稼働時間、水の使用量が大幅に増加。
- 3.地域貢献作業を行ないつつ、子供達にも育てる大変さ、フードロス問題を知る、きっかけを用意する。定期的に給食の残さを堆肥化し、廃棄物減量に努める。
- 4.テールゲートリフターの特別教育が義務化された為、交代で講習。テールリフトの操作時のルールを徹底し作業者の安全確認を再認識させた。  
災害対策セミナーに参加し、災害時の危機感の再認識。

## ACTION(改善)

- 1.産業廃棄物の資源化率は維持できている。年度によって回収量にムラがある為一概には言えないが、年々事業系一般可燃ごみの量は減ってきているので分別、リユースによるリサイクル率は向上していると思われる。
- 2.節水・節電において、前年より使用量が増加した。夏場の気温が高く、暑い期間が長い。冬場は気温が低いと、冷暖房の稼働時間が増加している。空調服を利用しているが、スポットクーラーや熱中症対策により水の使用量も増えたことから目標していたエネルギーコストの削減には届かなかった。従業員の体調管理を維持しつつ、季節ごとに節水・節電も検討していく。
- 3.地域の貢献の場を引き続き提供しつつ、交流の場を増やしていく。食品残さ=ゴミのイメージを払拭し、廃棄物の減量とともに持続的に活動続ける事によって廃棄物業界のイメージを払拭しつつ、子供たちに廃棄問題の大切さを定期的に見直す機会と場を提供する。
- 4.作業中の大きな事故もなく、安全管理面では、再認識させ安全に作業できている。災害対策についてはBCPについて、備えと安全確保を再認識し定期的な見直しの機会にもなった。

7つの文章	Check	見直しの必要性	8つの記録	Check
1.環境方針	○	無	1.環境への負荷の自己チェック	×
2.環境目標	○	無	2.環境への取組の自己チェック	○
3.環境活動計画	○	無	3.環境関連法規の遵守状況結果	○
4.環境関連法規の取りまとめ	○	無	4.外部からの苦情等の受付結果	○
5.実施体制	○	無	5.環境上の緊急事態の訓練結果	○
6.緊急事態の想定及び対応策	○	—	6.目標達成・計画実施状況	×
7.環境活動レポート	○	—	7.問題点の改善及び予防の処置	○
			8.代表者による評価の見直し	○

令和 7 年 9 月 4 日  
 代表取締役 塚本 貴生  
 有限会社 塚本興業